

原因と対策リスト

PCチェック項目	NGのタイプ	表示されるエラーメッセージ	NG原因	必要な対応・受検者への案内
OS	エラー	試験環境でNGの項目があります。該当の項目の設定を変更した上で、再度アプリを立ち上げてください。	Windowsのバージョンが動作保証環境外	Windows 7以降で受検してください。
Memory Size	エラー	試験環境でNGの項目があります。該当の項目の設定を変更した上で、再度アプリを立ち上げてください。	メモリ不足	メモリが2GB以上搭載されている端末で受検をしてください [それでもNGとなる] 別PCでご受検ください。
Disk Size	エラー	試験環境でNGの項目があります。該当の項目の設定を変更した上で、再度アプリを立ち上げてください。	ハードディスクの容量不足	ゴミ箱の中のファイル、その他不要なファイルなどを削除してみてください。 [それでもNGとなる] 別PCでご受検ください。
Sound Device	エラー	試験環境でNGの項目があります。該当の項目の設定を変更した上で、再度アプリを立ち上げてください。	スピーカーが無効または音声が出る設定になっていない	スピーカーの設定を有効にしてください。 コントロールパネルのサウンド設定やオーディオマネージャーから変更できます。
			スピーカー接続されていない	スピーカーが接続されていない可能性があります。 スピーカーデバイスが複数ある場合は、利用しないマイクを無効にしておくことを推奨します パソコンにスピーカーが内蔵されていない場合は、外付けのイヤホンまたはヘッドホンを接続してください。
Microphone Device	警告	録音デバイス(マイクなど)が認識されていません。 Speakingの試験が無い方は「Next」を押して進んでください。Speakingの試験がある方はマイクをご用意した上で、再度アプリを立ち上げてください。	Speakingの試験が無い場合	Nextを押して次に進んでください。
			マイクが有効になっていない	マイクの設定を有効にしてください。 マイクデバイスが複数ある場合は、利用しないマイクを無効にしておくことを推奨します コントロールパネルのサウンド設定やオーディオマネージャーから変更できます。
			マイクが接続されていない	マイクが接続されていない場合があります。 Speakingを受検する場合は、マイクが必須となります。 ※Speaking受検がない場合は、この警告を無視して受検をすることができます パソコンにマイクが内蔵されていない場合は、外付けのマイクまたはヘッドセットを接続してください。
Windows Media Player	エラー	試験環境でNGの項目があります。該当の項目の設定を変更した上で、再度アプリを立ち上げてください。	メディアプレイヤーのバージョンが古い	メディアプレイヤーのバージョンを確認してください。 バージョンは12以上です。古い場合はアップデートしてください。
Network Reachability	エラー	試験環境でNGの項目があります。該当の項目の設定を変更した上で、再度アプリを立ち上げてください。	ネットワークが繋がっていない/不安定な状態	ネットワークを確認してください。 [有線の場合]LANケーブルが正しく接続されていますか？ 抜けていませんか？ [無線の場合]ネットワークが繋がっていますか？ Wi-Fiのスイッチが切れていませんか？ モバイルルータなどの通信速度制限がかかっていませんか？
			ご利用のネットワークからGTECシステムへの接続ができない	セキュリティ対策ソフトなどでアクセス可能なWebページがホワイトリストなどで制限されていませんか？ プロキシサーバの例外にGTECの情報を登録することでアクセスできるようになりませんか？ 必要に応じてGTECシステムの情報を登録・設定をしてください。 [ホスト名] exam.gtecbiz.com [グローバルIP] 182.16.238.151 [プロトコル/ポート番号] https://443 [プログラム名] CbtEngine.FrontEnd.Gtec.exe